

Annual Report 2025

2025年度は以下の **7つの柱** に基づいて事業を実施しました。

助 成

- ① 海上交通におけるバリアフリー施設整備の推進（日本財団助成事業）
- ② 共生社会実現に向けた移動円滑化基金事業（日本財団助成事業）
- ③ ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

情報提供

- ④ 交通バリアフリー情報提供システムの運営等

教育・啓発

- ⑤ 交通サポートマネージャー研修の実施
- ⑥ バリアフリー推進勉強会の開催・周知啓発活動等

調査研究

- ⑦ 高齢者・障害者等の移動円滑化促進のための調査研究



1. 海上交通におけるバリアフリー施設整備の推進

離島等における高齢者・障害者等の日常生活及び社会生活航路として重要な旅客船及び旅客船ターミナルのバリアフリー施設整備に対して助成を行い、離島等における高齢者・障害者等の移動の円滑化を図る事業です。日本財団の助成金を活用して実施しています。

【募集期間】 6月1日～7月31日

【審査委員会】 9月16日（対面とオンラインのハイブリッド形式で開催）

- 2025年度の助成金の交付件数は21件（旅客船16隻、旅客船ターミナル5か所）
- 旅客船事業者等を対象としたバリアフリー推進セミナーを開催（福岡）



■愛知県／名鉄海上観光船
しらさぎ2

【対象設備】 バリアフリー客席、スロープ、
手すり、点字ブロック 等



■北海道／津軽海峡フェリー
ブルーグレイス

【対象設備】 エレベーター、バリアフリースイッチ、
バリアフリー客席、触知案内図、
運航情報提供表示装置 等



バリアフリー推進セミナー（福岡）

2. 共生社会実現に向けた移動円滑化基金事業

2020年パラリンピック東京大会を契機として、「共生社会ホストタウン」の拡大等、地域における共生社会実現に向けた機運が醸成されるなか、日本財団より造成された基金を活用し、地域における先進的なバリアフリーの取組みに対して支援を行っています。

● リフト付き空港アクセスバスの導入に対する助成を実施

〔助成対象〕 松江一畑交通、岡山電気軌道（計2件）

- ・ 空港アクセスバスの利用促進に向け、これまでに空港アクセスバスの導入支援を実施した事業者との意見交換会を開催し、導入効果を高めるための情報交換を実施

● 共生社会ホストタウンを対象に「心のバリアフリー推進事業」を実施

〔支援対象〕 大館市、明石市、三芳町、広島市

● 「共生社会バリアフリーシンポジウムin金沢」を開催



松江一畑交通／エレベーター付バス



岡山電気軌道／エレベーター付バス



共生社会バリアフリーシンポジウム(金沢)

3. ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成

交通バリアフリーに関わる先進的な調査研究や活動、技術の研究開発を行う若手研究者等に対して助成を行い、国内の交通バリアフリー促進に寄与する事業を実施しています。

【申請受付期間】 11月1日～11月30日 ※2026年度の研究・活動事業

【審査委員会】 3月3日（対面とオンラインのハイブリッド形式）

2026年度助成事業（計9事業） ➡ 採択者と審査委員との意見交換会を実施

■重点テーマ部門

- ①移動制約者のアクセシビリティを考慮した交通不便地域の設定方法に関する研究

■アーリーキャリア部門

- ②地域主体によるグリーンスローモビリティ運行における安全確保のための教育プログラム開発に関する研究
- ③混雑を考慮した車いす利用者の移動負担感に関する研究
- ④聴覚障害者の運転行動に着目したリスク検知と視覚的支援インターフェースの開発
- ⑤PLATEAUデータによるデジタルツインを用いた都心主要駅周辺の公共空間における精神障害者のバリアに対するコーピングに関する研究
- ⑥障害者・高齢者の公共交通機関利用における情報バリア解消に向けて
ーリハビリテーション学生を対象とした移動支援教育モデルの構築と縦断的效果検証ー
- ⑦過疎地域における公共交通とソーシャルキャピタルに関する研究

■研究・活動部門

- ⑧JR長与駅におけるGOOOOOOOD STATION交通バリアフリー調査研究
- ⑨みんなで学ぼう！北山村モビリティマネジメント

● 2024年度の助成事業の成果報告会(第18回)を開催

4. 交通バリアフリー情報提供システムの運営等

高齢者、障害者等が公共交通機関を円滑に利用できるようにするため、駅・ターミナル構内のバリアフリー施設、乗換案内等のバリアフリー情報をインターネット等で提供するシステム(らくらくおでかけネット)を運営しています。

【1日あたりのアクセス数】 ※2025年度
約6万358件／日（前年比57%増）

- 交通事業者への調査を行い、新規及び変更のあった駅情報の更新を実施
- 「らくらくおでかけネット」のアクセス数は年々増加

【参考】1日あたりのアクセス数

2024年度：38,443件／日（前年比19%増）

2023年度：32,332件／日（前年比20%増）

- 他事業者間の乗換経路情報の充実を図るための検討を実施

- ・ 2025年度は、「横浜駅」を対象に、障害当事者との現地調査、意見交換を実施し、テキストによる他事業者間の乗換経路案内を作成
- ・ これまでに作成した9駅の経路情報と、乗換経路案内作成のためのポイント集を公開（新たなウェブサイトを構築）



「らくらくおでかけネット」トップページ



乗換案内作成のための調査の様子(横浜駅)

5. 交通サポートマネージャー研修の実施

交通事業者のバリアフリー接遇・介助水準の向上、バリアフリーへの理解促進を図るため、障害当事者が講師として参画する交通事業者向けバリアフリー研修(交通サポートマネージャー研修)を実施しています。

【実施回数】 計6回 鉄道・バス合同の研修を首都圏・関西圏で各3回実施
※関西圏の3回は、京都市交通局の単独研修1回を含む

【受講者数】 177名 累計受講者数：2,584名（2025年度末時点）

- 事業者内のリーダーを養成する上級研修を1回実施(16名修了)
- 研修内容の改善や普及促進のための取組みを実施

- ・ 講師とのオンライン意見交換会
- ・ 障害当事者リーダー養成研修の共催(講師の育成)

- 個別事業者向けの「導入編」研修を2回実施(58名修了)

- ・ 「導入編」を実施した交通事業者と連携して、障害当事者参加による駅での乗降を含めた利用環境の検証を実施

- 研修テキストの見直しのための検討を実施
- 集合型の手話教室、出前手話教室の試行を実施



ディスカッションの様子
(交通サポートマネージャー研修)



駅での検証調査の様子
(乗降を含めた利用環境の検証)

6. バリアフリー推進勉強会の開催・周知啓発活動等

交通バリアフリーに関するハード・ソフト両面の課題や最新の動向を踏まえたバリアフリー推進勉強会、国内外の学術団体や障害当事者等と連携したセミナーを開催し、新たな知見や情報の発信に取り組んでいます。また、小中学生向けバリアフリー学習プログラムの実施などを通じた、バリアフリーの普及・啓発活動にも取り組んでいます。

● 様々なテーマを取り上げたバリアフリー推進勉強会を6回開催

- ・ 旅客船のバリアフリー化の推進 【福岡(6月)】
- ・ 空旅のユニバーサルデザイン 【東京(10月)】
- ・ 認知症にやさしいまちづくり 【福岡(1月)】
- ・ デフスペース・デザイン / デフフレンドリー・デザイン 【東京(2月)】
- ・ 大阪・関西万博における障害当事者視点の評価 【関西地区(9月・3月)】



バリアフリー推進勉強会
(空旅のユニバーサルデザイン)

※JAXAとJAMCOが開発を進めている航空機用バリアフリースイットレ(Metamorphic Lavatory)のモックアップを参加者が体験している様子

● 小中学生向けバリアフリー学習プログラムを実施

【2025年度実績】

小学校5校、中学校11校、大学・自治体等5件

● バリアフリー推進アドバイザーの委嘱など、障害者団体と連携した取組みを推進

● 交通バリアフリー関連の文献や報告書等の収集・整理を実施

■勉強会・セミナー等の開催実績（2025年度）

① バリアフリー推進勉強会

第76回 旅客船におけるバリアフリー化推進セミナー@福岡 【参加者数】41名

日時：2025年6月5日(木) 会場：JR博多シティ 10階大会議室

第77回 JAXAに聞く 空旅ユニバーサルデザインwith見学会 【参加者数】14名

日時：2025年10月24日(金) 会場：JAXA 調布航空宇宙センター飛行場分室

第78回 認知症の人の移動における情報環境を考えるセミナーwith見学会 【参加者数】59名

日時：2026年1月29日(木) 会場：福岡市認知症フレンドリーセンター

第79回 デフスペース・デザインやデフフレンドリー・デザインから新たな空間デザインを考える
【参加者数】59名

日時：2026年2月20日(金) 会場：交通エコロジー・モビリティ財団 会議室 / オンライン

② バリアフリー推進勉強会 in 関西

第21回 「大阪・関西万博」で“目指したもの”と当事者から見た“現在地” 【参加者数】132名

日時：2025年9月12日(金) 会場：ホテル プリムローズ大阪 3階 高砂 / オンライン

第22回 ユニバーサルデザインの視点からみる“大阪・関西万博”について
～当事者参画から得られた成果と課題～ 【参加者数】120名

日時：2026年3月6日(金) 会場：ホテルプリムローズ大阪 2階 鳳凰東 / オンライン

7. 高齢者・障害者等の移動円滑化促進のための調査研究

2021年の東京オリンピック・パラリンピック開催後、移動円滑化に関する様々な施策の進展がみられました。施設整備のみならず、設備を円滑に使うための役務の提供、情報提供や接遇・介助に関するガイドラインも整備され、アクセシビリティの確保が求められるとともに新しい課題が生まれています。そこで、移動円滑化の促進に資することを目的として、バリアフリーの様々な課題に関する調査研究を実施しています。

- 空港のユニバーサルデザイン診断を実施 [調査対象] 山口宇部空港、大分空港
- 外見上特性が分かりにくい障害のある当事者の空港における実態調査を実施

- ・ 接遇研修【羽田空港、大分空港、成田空港】
- ・ 事前搭乗体験会、冬のアクセシブルツアー in 長崎
- ・ センサリールーム事例等の海外調査(英国)
- ・ 空港利用ガイド(日本語版・英語版)の作成および公開

※上記事業は、全国空港事業者協会、中央大学研究開発機構等との民学連携により実施



空港利用ガイド

- 「標準案内用図記号ガイドライン2025」の発行および公開
- LRTのアクセシビリティ等移動円滑化、高齢者の移動、補助犬トイレのあり方等に関する各種調査を実施
- ジェンダー主流化(Gender mainstreaming) に関する勉強会を立ち上げ、国交省、ITF、中央大学研究開発機構と共同で検討を実施



標準案内用図記号ガイドライン

■その他の活動報告（2025年度）

① 他団体が主催するイベント等の共催

- ・ DPI障害当事者リーダー養成研修 / DPI日本会議
- ・ 感覚特性の多様性を知る ―感覚特性のある利用者への接遇研修
/ 中央大学研究開発機構、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会、
一般社団法人全国空港事業者協会、定期航空協会

② 他団体が主催するイベント等の後援

- ・ 日本福祉のまちづくり学会第28回全国大会(公立小松大学)
/ 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会事業委員会
- ・ 第39回リハ工学カンファレンスin東京 / 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

③ 他団体が主催するイベント等の協賛

- ・ 「私とみんてつ」小学生新聞コンクール / 一般社団法人日本民営鉄道協会

■その他の活動報告（2025年度）

④ 委員会等への出席

【委員会】

- ・ バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会 / 国土交通省総合政策局共生社会政策課
- ・ 公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会及び関連ワーキング
/ 国土交通省総合政策局共生社会政策課
- ・ 子育てにやさしい移動に関する協議会 / 国土交通省総合政策局共生社会政策課
- ・ 日ASEANバリアフリー専門家会合 / 国土交通省総合政策局国際政策課、共生社会政策課
- ・ ダイナミック・サイン国際標準開発国内委員会 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ・ JISZ8210原案作成委員会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ 図記号作成分科会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ ISO/TC145/SC1 国内委員会 / 一般財団法人日本規格協会
- ・ アクセシブルデザイン推進協議会(幹事会メンバー) / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ AD国際標準化委員会 / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ ISO/TC173/SC7 国内検討委員会 / 公益財団法人共用品推進機構
- ・ 新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会
/ 公益財団法人共用品推進機構
- ・ ISO/TC178 国内審議委員会 / 一般社団法人日本エレベーター協会
- ・ ふじのくにユニバーサルデザイン推進委員会 / 静岡県くらし・環境部県民生活局
- ・ 2027年国際園芸博覧会 アクセシビリティ・ガイドライン検討会（オブザーバー）
/ 公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会
- ・ 秋田空港ユニバーサルデザイン基本計画策定委員会 / 秋田空港ターミナルビル株式会社

■その他の活動報告（2025年度）

④ 委員会等への出席

【講師・講演】

- ・ 国土交通大学校令和7年度専門課程バリアフリー施策基礎研修
／ 国土交通省総合政策局共生社会政策課
- ・ 令和7年度バリアフリー講習会in鹿児島新港 ／ 国土交通省九州運輸局
- ・ 人権問題体験学習会 ／ 公益財団法人東京都人権啓発センター
- ・ バリアフリー／ユニバーサルデザイン入門Ⅰ ／ 慶応義塾大学経済学部
- ・ アクセシブルツーリズムと交通バリアフリー ／ 淑徳大学経営学部観光経営学科
- ・ 令和7年度保健医療福祉行政論Ⅱ講義 ／ 国際医療福祉大学大学院